



大朝日岳

1.概要

大朝日岳は西朝日岳、寒江山、以東岳を主稜とする連峰の主峰であり、仰ぎ見る山容は主峰にふさわしく、端正な三角錐を呈しておりかつては剣頭山とも呼ばれていた。この地域は日本海を渡って吹きつける強い季節風にまともに立ちはだかるため、我が国有数な豪雪地帯である。これらの雪は、山麓の民にとって古来より農業用水の貴重な水源である。また山中にあっては雪田、雪溪として朝日の山々を飾り、咲き誇るお花畑をはぐくみ、銀玉水などの水場を提供している。この雪によって、侵食された深い溪谷がこの山のアルペンの景観を呈している。大朝日岳付近はしばしば天候の境目となるため、ブロッケン現象の現れる所としても知られている。

2.登山ルート

登山道は派生する4つの尾根全てに開かれており、よく整備されている。朝日鉱泉からは最短距離の中ツル尾根経由、鳥原山小朝日岳を経由するコース、御影森山、平岩山を経由するコースがある。古寺鉱泉からは一服清水、小朝日岳を経由するコースが一般的である。大朝日岳からは寒江山～以東岳～大鳥池へと縦走路が続いている。

3.ツアーのコース概要

- ・1日目、3日目＝東京駅(→つばさ113号)⇔上野駅⇔大宮駅⇔(つばさ110号←)山形駅⇔左沢駅⇔古寺温泉
- ・2日目＝古寺鉱泉(670m)≪ジグザグと尾根の急坂=120分≫ハナヌキ峰分岐≪林の中の急な登り=90分≫古寺山(1501m)≪展望の良い尾根のアップダウン=50分≫小朝日岳(1647m)≪尾根の急な下りと登り返し=120分≫大朝日小屋≪稜線歩き=15分≫大朝日岳(1870m)≪稜線のアップダウン=100分≫小朝日岳分岐≪稜線のアップダウン=80分≫ハナヌキ峰分岐≪尾根歩きとジグザグな下り=80分≫古寺鉱泉

◎所要時間 約10.5時間 但し、天候条件等により変わります。

4.周辺地図

